

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	約 9 年10カ月間（2009年12月16日～2019年10月11日）	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・プレミア・インド株マザーファンドの受益証券
	ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド	インドの金融商品取引所上場株式、店頭登録株式およびD R（預託証券）（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
マザーファンドの運用方法	①主として、インド経済の構造変化の中で高い成長が期待できるインド企業の株式（※）に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。 ②銘柄の選定にあたっては、中長期的な成長性を判断するため、業界動向、個別企業の競争力、経営戦略、技術力等に着目します。 ③ポートフォリオの構築にあたっては、幅広い投資機会の獲得をめざし、業種、企業規模の分散を図ります。 ④外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドは、助言契約締結後、当該外貨建資産の運用について、SBI Funds Management Private Limitedの助言を受けます。 ⑤株式（※）の組入比率は、通常の状態で信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。 ⑥為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 （※）株式…D R（預託証券）を含みます。	
組 入 制 限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・インド株式オープン
－ ガンジスの恵み －

運用報告書（全体版）
第12期
（決算日 2015年10月13日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・インド株式オープン－ガンジスの恵み－」は、このたび、第12期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

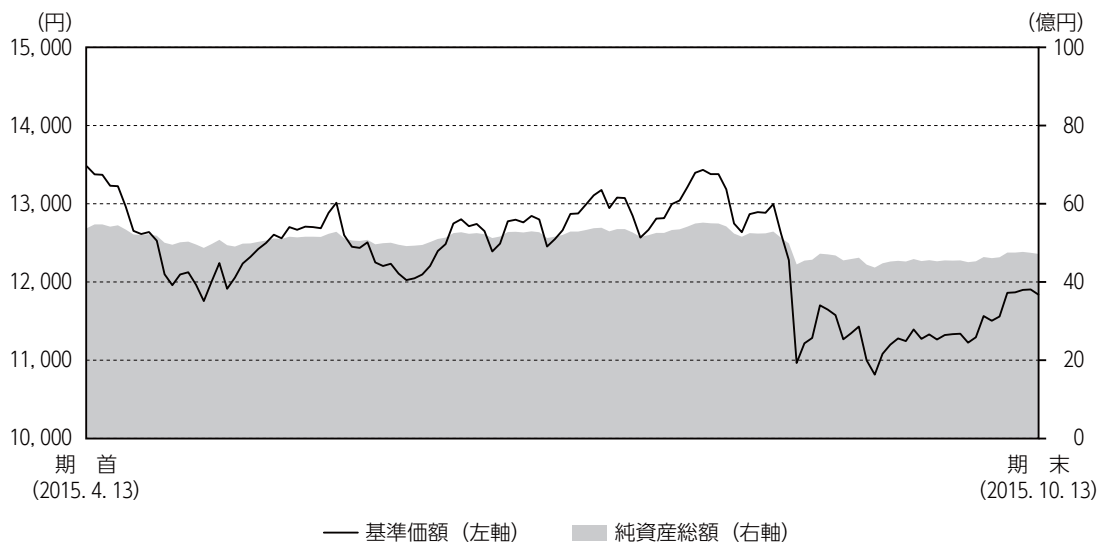
最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			M S C I インド指数 (配当込み、円換算)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8 期 末 (2013 年 10 月 15 日)	8, 943	0	△ 7. 0	10, 181	△ 3. 7	92. 8	3. 3	4, 068
9 期 末 (2014 年 4 月 14 日)	10, 288	300	18. 4	11, 700	14. 9	92. 5	4. 2	3, 582
10 期 末 (2014 年 10 月 14 日)	11, 765	1, 450	28. 5	14, 106	20. 6	92. 5	2. 1	4, 205
11 期 末 (2015 年 4 月 13 日)	13, 460	1, 250	25. 0	17, 348	23. 0	94. 2	2. 1	5, 350
12 期 末 (2015 年 10 月 13 日)	11, 831	0	△ 12. 1	15, 356	△ 11. 5	95. 1	3. 2	4, 695

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) M S C I インド指数 (配当込み、円換算) は、M S C I Inc. の承諾を得て、M S C I インド指数 (配当込み、インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10, 000 として大和投資信託が計算したものです。M S C I インド指数は、M S C I Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は M S C I Inc. に帰属します。また M S C I Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期首：13,460円

期末：11,831円

騰落率：△12.1%

■基準価額の主な変動要因

インド株式市況が下落したことや、為替相場において円高インド・ルピー安となったことがマイナス要因となり、基準価額は値下がりしました。

年 月 日	基 準 価 額		M S C I イ ン ド 指 数 (配 当 込 み、 円 換 算)		株 式 組 入 率	株 式 先 物 率
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期 首) 2015年 4 月13日	円 13, 460	% —	17, 348	% —	% 94. 2	% 2. 1
4 月 末	12, 085	△ 10. 2	15, 511	△ 10. 6	94. 8	3. 1
5 月 末	12, 674	△ 5. 8	16, 254	△ 6. 3	95. 5	3. 1
6 月 末	12, 379	△ 8. 0	16, 196	△ 6. 6	94. 9	3. 1
7 月 末	12, 801	△ 4. 9	16, 570	△ 4. 5	95. 2	3. 1
8 月 末	11, 639	△ 13. 5	14, 966	△ 13. 7	95. 8	3. 2
9 月 末	11, 288	△ 16. 1	14, 517	△ 16. 3	95. 6	3. 3
(期 末) 2015年10月13日	11, 831	△ 12. 1	15, 356	△ 11. 5	95. 1	3. 2

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は下落しました。

インド株式市況は、期首から2015年6月中旬にかけて、市場予想を下回る企業業績、外国人投資家に対する課税強化への懸念、米国の利上げ観測の高まりなどを受けて下落しました。その後は、RBI（インド準備銀行）による追加利下げ観測、ギリシャ債務問題への懸念の後退、政府の株価対策などを受けた中国株式市況の反発などが支援材料となり、8月中旬にかけておおむね堅調に推移しました。8月下旬から9月上旬にかけては、低調な経済指標や人民元の事実上の切下げ発表を受けた中国の景気鈍化懸念、米国の金融政策に対する不透明感の高まりなどにより、世界的にリスク回避姿勢が強まる中で大幅に下落しました。その後は、RBIが市場予想を上回る大幅利下げを決定したことや、米国の雇用統計が市場予想を下回ったことで同国の年内利上げ観測が大幅に後退したことなどが支援材料となり、上昇基調となり期末を迎えました。

○為替相場

円に対してインド・ルピーは下落しました。

期首から2015年5月中旬にかけて、外国人投資家に対する課税強化への懸念などを背景に、インド・ルピーは下落基調となりました。その後は、米国の利上げ観測の高まりを背景に円安米ドル高が進行したことなどから、8月中旬にかけておおむね堅調に推移しました。8月下旬にかけては、中国の景気鈍化懸念などを背景に世界的にリスク回避姿勢が強まる中で大幅に下落しました。その後は、インフレ率の安定などインドの経済ファンダメンタルズの改善期待や米国の年内利上げ観測の後退などが支援材料となり、円安インド・ルピー高基調で期末を迎えました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

「ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

○ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド

当ファンドでは、個別企業の成長力に着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行なってまいります。業種では、高い経済成長を背景に不動産投資や資金需要の増加が期待される金融、所得水準の向上や民間消費の拡大に伴い業績拡大が見込まれる一般消費財・サービス、今後のインフラ投資拡大が見込まれる資本財・サービス、ジェネリック薬品に対する旺盛な需要拡大の恩恵が期待されるヘルスケアなどに注目しています。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

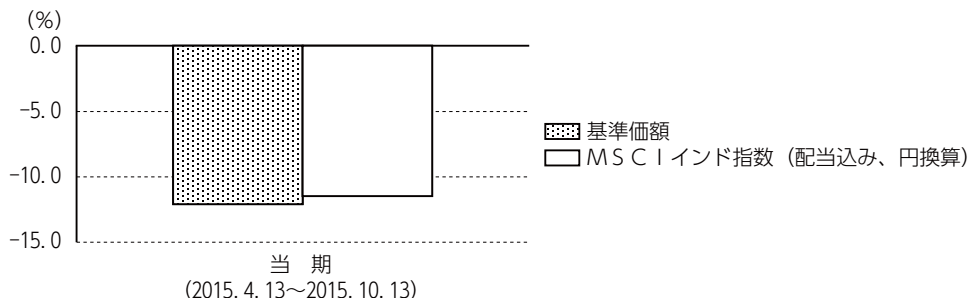
○ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド

インド経済の構造変化の中で高い成長が期待できる銘柄に分散投資を行ないました。業種では、好調なインフラ向けビジネスや通貨安などを背景に堅調な成長が見込まれ、株価バリュエーション面でも魅力度が高いと考えられたITサービス企業を中心に情報技術セクター、高い経済成長を背景に不動産投資や資金需要の増加が期待された金融、堅調な国内ビジネスの成長や米国での新製品承認が期待されたヘルスケアセクターを組入上位としました。個別銘柄では、組織再編や通貨安などを背景に堅調な成長が期待されたITサービス大手 INFOSYS LTD-SP ADR（情報技術）、今後数年間の新製品の投入による高い成長が期待された製薬会社 NATCO PHARMA LTD（ヘルスケア）、堅調な小売マージンの推移が予想された石油元売企業 HINDUSTAN PETROLEUM CORP（エネルギー）などを買付けました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		当期
		2015年4月14日 ～2015年10月13日
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,433

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

○ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド

当ファンドでは、個別企業の成長力に着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行なっております。業種では、過去数カ月の株価下落により、株価バリュエーション面での魅力度が高まったと判断されることから、生活必需品セクターに注目しています。また、堅調な国内ビジネスの成長や、米国での新製品承認が期待されることからヘルスケアセクターにも注目しています。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 4. 14～2015. 10. 13)		
	金 額	比 率	
信託報酬	112円	0. 907%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12, 313円です。
(投信会社)	(53)	(0. 432)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(53)	(0. 432)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(5)	(0. 043)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	30	0. 246	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(30)	(0. 241)	
(先物)	(1)	(0. 005)	
有価証券取引税	11	0. 091	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(11)	(0. 091)	
その他費用	36	0. 294	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(14)	(0. 111)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(22)	(0. 180)	キャピタルゲイン課税および信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	189	1. 538	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年4月14日から2015年10月13日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド	185,898	403,000	206,254	426,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年4月14日から2015年10月13日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	4,003,096千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,706,359千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.85

(注1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド	2,340,311	2,319,956	4,687,007

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年10月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド	4,687,007	98.3
コール・ローン等、その他	83,443	1.7
投資信託財産総額	4,770,451	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月13日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝119.95円、1インド・ルピー＝1.86円です。

(注3) ダイワ・プレミア・インド株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (4,642,797千円) の投資信託財産総額 (4,716,011千円) に対する比率は、98.4% です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年10月13日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,770,451,034円
コール・ローン等	54,443,653
ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド (評価額)	4,687,007,381
未収入金	29,000,000
(B) 負債	74,712,517
未払解約金	29,232,029
未払信託報酬	45,345,616
その他未払費用	134,872
(C) 純資産総額 (A－B)	4,695,738,517
元本	3,969,015,768
次期繰越損益金	726,722,749
(D) 受益権総口数	3,969,015,768口
1万口当り基準価額 (C/D)	11,831円

* 期首における元本額は3,975,239,007円、当期中における追加設定元本額は448,160,195円、同解約元本額は454,383,434円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,831円です。

■損益の状況

当期 自2015年4月14日 至2015年10月13日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	11,578円
受取利息	11,578
(B) 有価証券売買損益	△ 569,103,281
売買益	49,771,739
売買損	△ 618,875,020
(C) 信託報酬等	△ 45,480,488
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 614,572,191
(E) 前期繰越損益金	803,410,444
(F) 追加信託差損益金	537,884,496
(配当等相当額)	(559,201,253)
(売買損益相当額)	(△ 21,316,757)
(G) 合計 (D + E + F)	726,722,749
次期繰越損益金 (G)	726,722,749
追加信託差損益金	537,884,496
(配当等相当額)	(559,201,253)
(売買損益相当額)	(△ 21,316,757)
分配準備積立金	803,410,444
繰越損益金	△ 614,572,191

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は10ページの「収益分配金の計算過程 (総額)」の表を参照。

(注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：12,497,121円 (未監査)

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	559, 201, 253
(d) 分配準備積立金	803, 410, 444
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1, 362, 611, 697
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	1, 362, 611, 697
(h) 受益権総口数	3, 969, 015, 768口

当ファンドは少額投資非課税制度「N I S A（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年 4 月13日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1 万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）」は13, 700円です。」

ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド

運用報告書 第6期 (決算日 2015年10月13日)

(計算期間 2014年10月15日～2015年10月13日)

ダイワ・プレミア・インド株マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドの金融商品取引所上場株式、店頭登録株式およびDR（預託証券）（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
運用方法	①主として、インド経済の構造変化の中で高い成長が期待できるインド企業の株式（※）に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。 ②銘柄の選定にあたっては、中長期的な成長性を判断するため、業界動向、個別企業の競争力、経営戦略、技術力等に着目します。 ③ポートフォリオの構築にあたっては、幅広い投資機会の獲得をめざし、業種、企業規模の分散を図ります。 ④外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドは、助言契約締結後、当該外貨建資産の運用について、SBI Funds Management Private Limited の助言を受けます。 ⑤株式（※）の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80% 程度以上に維持することを基本とします。 ⑥為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 （※）株式…DR（預託証券）を含みます。
株式組入制限	無制限

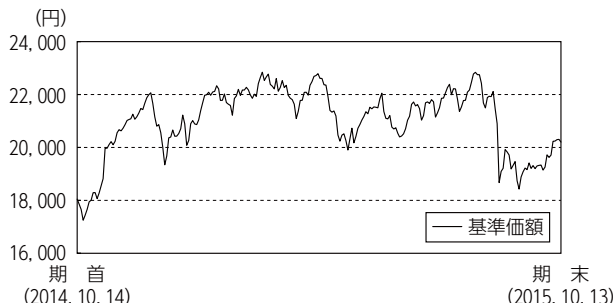
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		MSCI インド指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株式先物 比率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
(期 首) 2014年10月14日	18,049	—	14,506	—	94.3	2.1
10月末	18,820	4.3	15,138	4.4	95.6	2.1
11月末	21,301	18.0	16,932	16.7	96.3	2.1
12月末	20,705	14.7	15,996	10.3	96.2	2.1
2015年 1月末	22,213	23.1	17,473	20.5	96.7	2.1
2月末	21,930	21.5	17,467	20.4	96.2	2.0
3月末	21,776	20.6	17,059	17.6	96.0	1.9
4月末	20,467	13.4	15,949	10.0	95.0	3.1
5月末	21,499	19.1	16,714	15.2	95.7	3.1
6月末	21,031	16.5	16,654	14.8	95.1	3.1
7月末	21,782	20.7	17,039	17.5	95.4	3.1
8月末	19,832	9.9	15,390	6.1	95.9	3.2
9月末	19,261	6.7	14,928	2.9	95.7	3.3
(期 末) 2015年10月13日	20,203	11.9	15,790	8.9	95.3	3.3

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) M S C I インド指数 (配当込み、円換算) は、M S C I Inc. の承諾を得て、M S C I インド指数 (配当込み、インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。M S C I インド指数は、M S C I Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は M S C I Inc. に帰属します。また M S C I Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：18,049円 期末：20,203円 騰落率：11.9%

【基準価額の主な変動要因】

インド株式市況が上昇したことや、為替相場において円安インド・ルピー高となったことがプラスに寄与し、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、期首から2015年4月中旬にかけて、原油価格の急落や米国の利上げ観測などを受けた世界的なリスク回避姿勢により一時的に軟調な時期があったものの、R B I (インド準備銀行) による政策金利の引下げやモディ政権による経済改革への期待などが支援材料となり、おおむね上昇基調となりました。6月中旬にかけては、外国人投資家に対する課税強化への懸念などが重しとなり下落しました。その後、いったん上昇に転じたものの、8月下旬から市場は再び不安定になり、人民元の事実上の切下げ発表を受けた中国の景気鈍化懸念などによる世界的なリスク回避行動から下落しました。期末にかけては、R B I が市場予想を上回る大幅追加利下げを決定したことや、米国の年内利上げ観測が大幅に後退したことなどが支援材料となり、上昇基調となりました。

○為替相場

円に対してインド・ルピーは上昇しました。

期首から2014年12月上旬にかけて、日本の追加金融緩和策の発表や米国の利上げ観測の高まりなどを背景に円安米ドル高が急速に進んだことから、大幅に上昇しました。12月中旬から2015年8月中旬にかけては、原油価格の急落などを受けて世界的にリスク回避姿勢が強まった局面や、外国人投資家に対する課税強化への懸念が高まった局面では軟調な展開となったものの、米国の利上げ観測の高まりを背景とした円安米ドル高などが支援材料となり、おおむね横ばい圏での推移となりました。8月下旬にかけては、中国の景気鈍化懸念などを背景に世界的にリスク回避姿勢が強まる中で、大幅に下落しました。その後は、インフレ率の安定などインドの経済ファンダメンタルズの改善期待や、米国の年内利上げ観測の後退などが支援材料となり、円安インド・ルピー高基調で期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

- 株式組入比率
当面85～100%とする運用を継続する方針です。
- ポートフォリオ
・引続き、個別銘柄の株価動向を踏まえ、財務内容が良好で中長期的に高い成長が見込まれる企業への投資を継続し、業種と企業規模の分散を図ったポートフォリオとする方針です。
・今後の景気回復が見込まれることに加え、所得水準の向上や中間所得層の増加などに伴い業績拡大が見込まれる一般消費財・サービスおよび金融、インフラ投資拡大の恩恵が期待される資本財・サービス、ジェネリック薬品に対する旺盛な需要拡大の恩恵が期待されるヘルスケアセクターの投資妙味が高いと考えています。
・商品市況低迷の影響が懸念される素材、株価バリュエーション面での魅力に乏しい生活必需品セクターについては、相対的に投資妙味が低いと考えています。

◆ポートフォリオについて

インド経済の構造変化の中で高い成長が期待できる銘柄に分散投資を行ないました。業種では、好調なインフラ向けビジネスや通貨安などを背景に堅調な成長が見込まれ、株価バリュエーション面でも魅力度が高いと考えられたITサービス企業を中心に情報技術セクター、高い経済成長を背景に不動産投資や資金需要の増加が期待された金融、堅調な国内ビジネスの成長や米国での新製品承認が期待されたヘルスケアセクターを組入上位としました。個別銘柄では、組織再編や通貨安などを背景に堅調な成長が期待されたITサービス大手INFOSYS LTD-SP ADR（情報技術）、今後数年間の新製品の投入による高い成長が期待された製薬会社NATCO PHARMA LTD（ヘルスケア）、経済成長に伴う堅調な貸出残高成長が期待されたSTATE BANK OF INDIA（金融）などを買い付けました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。
参考指数はインド株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、個別企業の成長力に着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行なっております。業種では、過去数力月の株価下落により、株価バリュエーション面での魅力度が高まったと判断されることから、生活必需品セクターに注目しています。また、堅調な国内ビジネスの成長や、米国での新製品承認が期待されることからヘルスケアセクターにも注目しています。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (先物)	102円 (101) (2)
有価証券取引税 (株式)	35 (35)
その他費用 (保管費用) (その他)	181 (42) (139)
合 計	318

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
- (注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1)株 式

(2014年10月15日から2015年10月13日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 2,661 (950)	千アメリカ・ドル 9,011 (—)	百株 1,589	千アメリカ・ドル 5,026
	インド	百株 62,070.05 (5,325.51)	千インド・ルピー 1,638,542 (1,637)	百株 47,495.15	千インド・ルピー 1,838,208

- (注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の種別取引状況

(2014年10月15日から2015年10月13日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	百万円 1,622	百万円 1,558	百万円 —	百万円 —

- (注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
株 式

(2014年10月15日から2015年10月13日まで)

当 期				期			
買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
INFOSYS LTD-SP ADR (インド)	176.3	727,285	4,125	INFOSYS LTD-SP ADR (インド)	97.7	398,744	4,081
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド)	89.8	320,101	3,564	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE (インド)	106.4	225,539	2,119
NATCO PHARMA LTD (インド)	35.2	147,780	4,198	TATA CONSULTANCY SVCS LTD (インド)	44.5	208,798	4,692
STATE BANK OF INDIA (インド)	213.3	121,506	569	RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド)	61.2	201,569	3,293
LARSEN & TOUBRO LTD (インド)	29	94,323	3,252	IRB INFRASTRUCTURE DEVELOPER (インド)	272.7	127,425	467
BAJAJ CORP LTD (インド)	101	85,451	846	ITC LTD (インド)	173.4	117,444	677
STRIDES ARCOLAB LTD (インド)	48.008	80,810	1,683	HAVELLS INDIA LTD (インド)	207.6	103,477	498
UNION BANK OF INDIA (インド)	193.7	77,406	399	BAJAJ FINANCE LTD (インド)	10.943	96,621	8,829
ORIENTAL BANK OF COMMERCE (インド)	136.4	75,824	555	MINDTREE LTD (インド)	35.6	91,825	2,579
SADBHAV ENGINEERING LTD (インド)	140.491	74,756	532	MOTHERSON SUMI SYSTEMS LTD (インド)	132.2	85,430	646

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1)外国株式

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円
(アメリカ)					
INFOSYS LTD - SP ADR	—	1,736	3,103	372,320	情報技術
RELIANCE INDS - SPONS GDR 144A	—	286	787	94,512	エネルギー
アメリカ・ドル株数・金額	—	2,022	3,891	466,833	
通 貨 計 銘柄数<比率>	—	2銘柄		<10.0%>	
		百株	百株	千インド・ルピー	千円
(インド)					
ADLABS ENTERTAINMENT LTD	—	1,373.39	16,528	30,743	娯楽・サービス
SHARDA CROPICHEM LTD	—	360.59	10,206	18,984	素材
TV18 BROADCAST LTD	—	8,096.32	27,851	51,803	娯楽・サービス
CYIENT LTD	—	442.44	26,176	48,689	情報技術
NATIONAL BUILDINGS CONSTRUCT	—	291	29,370	54,629	娯楽・サービス
PERSISTENT SYSTEMS LTD	—	342.09	22,991	42,764	情報技術
RALLIS INDIA LTD	—	916.66	19,488	36,248	素材
INDOCO REMEDIES LTD	—	168.56	5,582	10,383	ヘルスケア
TATA STEEL LTD	320	570	14,298	26,595	素材
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	156.4	132.4	56,029	104,215	娯楽・サービス
ACC LTD	104	104	13,981	26,005	素材
TATA POWER CO LTD	731	—	—	—	公益事業
FEDERAL BANK LTD	2,270	—	—	—	金融
OBEROI REALTY LTD	487	487	12,900	23,995	金融
BAYER CROPSCIENCE LTD	52.27	10.22	3,859	7,178	素材

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千インド・ルピー	千円	
DLF LTD	337	—	—	—	金融
ASIAN PAINTS LTD	394	389	33,424	62,170	素材
HINDUSTAN PETROLEUM CORP	—	322	24,583	45,724	エネルギー
STATE BANK OF INDIA	127	2,309	56,466	105,027	金融
TATA COMMUNICATIONS LTD	—	387.5	16,085	29,918	電通サービス
POWER GRID CORP OF INDIA LTD	1,327.58	1,876.58	25,014	46,527	公益事業
VOLTAS LTD	2,216	1,510	41,162	76,562	資本財・サービス
SUN TV NETWORK LTD	466	—	—	—	娯楽財・サービス
CESC LTD	230	456	26,614	49,502	公益事業
CONTAINER CORP OF INDIA LTD	209	81	12,471	23,197	資本財・サービス
TITAN CO LTD	527.59	—	—	—	娯楽財・サービス
BAJAJ AUTO LTD	—	65	15,744	29,285	娯楽財・サービス
BHARAT PETROLEUM CORP LTD	193	148	12,565	23,372	エネルギー
IDEA CELLULAR LTD	530	—	—	—	電通サービス
NATIONAL ALUMINIUM CO LTD	2,167	6,632.58	26,430	49,161	素材
PUNJAB NATIONAL BANK	122.41	—	—	—	金融
JINDAL STEEL & POWER LTD	536	—	—	—	素材
MARICO LTD	689.33	620.33	24,512	45,592	生活必需品
CANARA BANK	—	667	19,743	36,722	金融
CENTURY TEXTILES & INDS LTD	245	191	10,121	18,825	素材
CROMPTON GREAVES LTD	1,491	—	—	—	資本財・サービス
IRB INFRASTRUCTURE DEVELOPER	2,173	—	—	—	資本財・サービス

ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千円	千円	
ADANI PORTS AND SPECIAL ECON	1,413	1,722	55,233	102,733	資本財・サービス
UNION BANK OF INDIA	—	1,457	26,553	49,390	金融
OIL INDIA LTD	360.82	—	—	—	エネルギー
ALLAHABAD BANK	—	2,282	17,902	33,298	金融
AUROBINDO PHARMA LTD	737	1,058	83,269	154,881	ヘルスケア
BHARAT FORGE LTD	361	—	—	—	一般消費・サービス
BRITANNIA INDUSTRIES LTD	195.55	84.55	26,806	49,859	生活必需品
INDRAPRASTHA GAS LTD	517.04	—	—	—	公益事業
ING VYSYA BANK LTD	174	—	—	—	その他
LUPIN LTD	163.29	94	18,892	35,139	ヘルスケア
MOTHERSON SUMI SYSTEMS LTD	1,716.74	975.61	24,775	46,082	一般消費・サービス
ORIENTAL BANK OF COMMERCE	—	1,364	19,778	36,787	金融
SHRIRAM TRANSPORT FINANCE	260.45	315.45	30,833	57,350	金融
TECH MAHINDRA LTD	212	1,066	59,989	111,579	情報技術
THERMAX LTD	235.19	—	—	—	資本財・サービス
AIA ENGINEERING LTD	217	—	—	—	資本財・サービス
SOBHA LTD	549.4	—	—	—	金融
EMAMI LTD	—	117	12,988	24,159	生活必需品
TORRENT PHARMACEUTICALS LTD	452.5	304.4	46,532	86,549	ヘルスケア
RURAL ELECTRIFICATION CORP	275	—	—	—	金融
COX AND KINGS LTD	—	1,011.88	25,059	46,610	一般消費・サービス
HEXWARE TECHNOLOGIES LTD	—	1,037	25,551	47,526	情報技術
SADHAV ENGINEERING LTD	—	1,228.91	37,008	68,836	資本財・サービス
COAL INDIA LTD	—	866	28,959	53,863	エネルギー
J. KUMAR INFRAPROJECTS LTD	—	337.64	24,824	46,174	資本財・サービス
POLYPLEX CORPORATION LTD	—	715.38	17,269	32,120	素材
MANAPPURAM FINANCE LTD	3,893	—	—	—	金融
TREEHOUSE EDUCATION AND ACC	—	759.13	22,576	41,992	一般消費・サービス
BAJAJ CORP LTD	—	593.52	25,426	47,293	生活必需品
NATCO PHARMA LTD	—	352	87,964	163,614	ヘルスケア
KARUR VYSYA BANK LTD	218.2	377.32	16,866	31,371	金融
PRESTIGE ESTATES PROJECTS	1,424.83	602.83	12,466	23,187	金融
BAJAJ FINANCE LTD	109.43	—	—	—	金融
MAHINDRA & MAHINDRA FIN SECS	677	574	13,356	24,843	金融
MRF LTD	8.49	6.49	26,676	49,619	一般消費・サービス
BHARTI INFRATEL LTD	—	603	23,293	43,326	電気通信サービス
ARVIND LTD	926	1,060	30,649	57,008	一般消費・サービス
HAVELLS INDIA LTD	1,893	—	—	—	資本財・サービス
MINDTREE LTD	652.6	313.6	44,035	81,906	情報技術
PI INDUSTRIES LTD	580.52	—	—	—	素材
INDIABULLS HOUSING FINANCE L	631	336	24,862	46,243	金融
SREI INFRASTRUCTURE FINANCE	—	5,979.29	30,255	56,274	金融
PVR LTD	414.93	296.93	24,449	45,475	一般消費・サービス

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千円	千円	
VA TECH WABAG LTD	325.03	206.62	13,331	24,795	公益事業
SKS MICROFINANCE LTD	440	547	23,430	43,581	金融
CREDIT ANALYSIS & RESEARCH	109	—	—	—	金融
STRIDES ARCOLAB LTD	—	448.08	55,828	103,841	ヘルスケア
GAIL INDIA LTD	284	850	27,106	50,418	公益事業
HINDALCO INDUSTRIES LTD	1,384	2,695	23,891	44,437	素材
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	451	85	22,037	40,989	情報技術
LARSEN & TOUBRO LTD	300	378	58,741	109,258	資材・サービス
TATA MOTORS LTD	527	354.38	12,840	23,884	一般消費・サービス
BHARAT HEAVY ELECTRICALS	—	449	9,226	17,162	資材・サービス
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	1,368.5	304.5	38,679	71,943	金融
HDFC BANK LIMITED	120.13	—	—	—	金融
ICICI BANK LTD	356	1,919	55,190	102,654	金融
RELIANCE INDUSTRIES LTD	116	—	—	—	エネルギー
OIL & NATURAL GAS CORP LTD	751	713	18,780	34,931	エネルギー
ITC LTD	2,047	431	14,686	27,316	生活必需品
MAHINDRA & MAHINDRA LTD	231	430	54,820	101,966	一般消費・サービス
BHARTI AIRTEL LTD	631	641	22,402	41,669	電気通信サービス
SUN PHARMACEUTICAL INDUS	720	450.6	40,193	74,759	ヘルスケア
AMBUJA CEMENTS LTD	—	1,105	23,199	43,151	素材
DABUR INDIA LTD	1,442.14	—	—	—	生活必需品
HCL TECHNOLOGIES LTD	306	678	57,975	107,834	情報技術
VEDANTA LTD	1,100	754	8,361	15,553	素材
インド・ルピー	株数、金額	50,379.36	70,279.77	2,150,040	3,999,075
通 貨 計	銘柄数<比率>	73銘柄	77銘柄	<85.3%>	
ファン ド	株数、金額	50,379.36	72,301.77	—	4,465,908
合 計	銘柄数<比率>	73銘柄	79銘柄	<95.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘 柄 別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
外 国	SGX CNX NIFTY ETS (シンガポール)	百万円 152	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年10月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 4,465,908	% 94.7
コール・ローン等、その他	250,103	5.3
投資信託財産総額	4,716,011	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月13日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝119.95円、1インド・ルピー＝1.86円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,642,797千円)の投資信託財産総額(4,716,011千円)に対する比率は、98.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年10月13日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	4,716,011,842円
コール・ローン等	211,562,850
株式(評価額)	4,465,908,414
未収入金	2,507,435
未収配当金	1,082,713
差入委託証拠金	34,950,430
(B)負債	29,000,000
未払解約金	29,000,000
(C)純資産総額(A-B)	4,687,011,842
元本	2,319,956,136
次期繰越損益金	2,367,055,706
(D)受益権総口数	2,319,956,136口
1万口当り基準価額(C/D)	20,203円

*期首における元本額は2,285,403,903円、当期中における追加設定元本額は764,296,285円、同解約元本額は729,744,052円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・インド株式オープンーガンジスの恵みー2,319,956,136円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は20,203円です。

■損益の状況

当期 自2014年10月15日 至2015年10月13日

項 目	当 期
(A)配当等収益	56,200,193円
受取配当金	56,156,148
受取利息	44,045
(B)有価証券売買損益	490,897,168
売買益	1,014,806,390
売買損	△ 523,909,222
(C)先物取引等損益	△ 10,731,447
取引益	16,660,095
取引損	△ 27,391,542
(D)その他費用	△ 43,200,975
(E)当期損益金(A+B+C+D)	493,164,939
(F)前期繰越損益金	1,839,543,000
(G)解約差損益金	△ 814,455,948
(H)追加信託差損益金	848,803,715
(I)合計(E+F+G+H)	2,367,055,706
次期繰越損益金(I)	2,367,055,706

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託(当ファンドは該当します。)には適用されなくなりました。